

バルカーグループ  
CSR 調達ガイドライン

< VALQUA GROUP CSR Procurement Guidelines >



はじめに

近年、社会の持続的な発展のために企業が求められる役割と責任は確実に高まっています。さらに、その成果と課題を積極的にステークホルダーに開示、説明していくこと、そしてステークホルダーとのコミュニケーションをとおして企業活動を改善し、信頼関係を構築することも重要な社会的責任となっています。

バルカーグループの企業理念「THE VALQUA WAY」は、社名の由来であり基本理念でもある「Value & Quality」、それをさらに社員が理解し実践しやすくした4つの「経営理念」、そして「行動指針 10 項」で構成されています。この深い理解と実践こそが、当社グループの CSR の基盤となっています。その「THE VALQUA WAY」を礎にバルカーグループの CSR コンセプトとして「ステークホルダーとの協働」「第一級の品質」「ルール最優先」を推進しております。

この「THE VALQUA WAY」および「CSR コンセプト」に基づき「バルカーグループ CSR 調達ガイドライン」を制定しました。本ガイドラインの主旨をご理解いただき、サプライヤーの皆様におかれましても是非とも取り組み頂きますようお願い申し上げます。

#### ■THE VALQUA WAY



#### ■バルカーグループ CSR コンセプト



## 目次

I. バルカーグループにおける CSR 調達の考え方	・・・ 4
II. バルカーグループ調達基本方針	・・・ 4
III. バルカーグループ CSR 調達基準	
1. 法令・倫理の遵守	・・・ 5
1) 企業活動における法令遵守の徹底	
2) 不適切な利益授受の禁止	
3) 適切な輸出入	
4) 知的財産権の尊重と保護	
5) 情報管理	
6) 情報のセキュリティ	
7) 紛争鉱物	
8) 労働	
2. 公正な自由競争の原則	・・・ 6
1) 開かれた購買	
2) 公平かつ公正な購買活動	
3. 環境保全に配慮した企業活動	・・・ 6
1) 環境関連法令・規制の遵守	
2) 環境に配慮した生産プロセスにおける維持管理の徹底	
3) 環境負荷物質の低減・削減	
4) 公害防止、環境保全	
5) 大気汚染	
4. 人権への配慮	・・・ 6
1) 個人情報の尊重	
2) 非人道的な扱いの禁止	
3) 差別の禁止	
5. 安全衛生	・・・ 6
1) 職場のリスク管理	
2) 衛生管理	

## I. バルカーグループにおける CSR 調達の考え方

企業の社会的責任を果たすためには、当社の活動として CSR を推進するだけでなく、サプライヤーの皆様におかれましても CSR に取り組んでいただくことが必須であります。つまり、サプライチェーン全体に参加するすべての企業が社会の要請に応えることで社会的責任を果たせるものと考えております。したがって、サプライヤーの皆様にも当社の企業理念ならびに CSR コンセプトをご理解いただき、当社の調達活動に賛同し協力いただくことが CSR 調達の実現には不可欠と考えております。

## II. バルカーグループ 調達基本方針

### バルカーグループ 調達基本方針

#### 1. 法令・倫理の遵守

法令・社会規範を遵守し、健全で公正な企業活動を実践するとともに、サプライヤーに対し社会的責任を意識した行動を要請します

[ ステークホルダーとの協働 ] [ ルール最優先 ]

#### 2. 公正な自由競争の原則

世界中のサプライヤーから優れた部材・サービスを最適な地域から公正な競争原理にて調達活動を行います

[ ステークホルダーとの協働 ] [ 第一級の品質 ] [ ルール最優先 ]

#### 3. 環境保全に配慮した企業活動

製品に使用する資材について、地球環境に配慮した調達を積極的に行います

[ ステークホルダーとの協働 ] [ 第一級の品質 ]

#### 4. 人権への配慮

人権尊重を徹底した企業活動を実践します

[ ステークホルダーとの協働 ]

#### 5. 安全衛生

企業における潜在危険有害要因を未然に予知・対策することにより災害防止に努めるとともに、適切な健康管理を実施し、安心して働ける職場の安全衛生を維持向上させる活動を実践します

[ 第一級の品質 ]

### Ⅲ. バルカーグループ CSR 調達基準

#### 1. 法令・倫理の遵守

- 1) 企業活動における法令遵守の徹底  
企業活動を行う国・地域の法令を遵守するとともに、国際行動規範を最大限尊重する
- 2) 不適切な利益授受の禁止  
企業活動において不適切な利益の授受を禁止する(直接的授受あるいは第三者をとおした間接的授受)。また、反社会的勢力への不適切な利益供与、インサイダー取引等もこれらの行為に該当する
- 3) 適切な輸出入  
適切な輸出入管理体制を構築し、各国・地域の法令に則り、適切な輸出入手続を行う
- 4) 知的財産権の尊重と保護
  - ① 第三者の知的財産権を尊重し、不正な使用は行わない
  - ② 自社の知的財産の不正に使用されないよう、適切な管理・運用をする
- 5) 情報管理  
取引を通じ知り得た秘密情報は厳密に管理しその保持に努めるとともに、了解なく第三者へ開示しないよう厳重に管理する
- 6) 情報のセキュリティ  
コンピュータ・ネットワーク上の脅威に対し防御策を講じて、自他共に被害を与えないよう管理する
- 7) 紛争鉱物  
コンゴ民主共和国とその近隣国における深刻な人権侵害の加害者である武装グループに直接または間接的に資金や利益を提供することを行わない  
※ 紛争鉱物=上記紛争地域産のタンタル、すず、タングステン、金とその派生物
- 8) 労働
  - ① 強制労働の禁止  
強制労働・債務労働・奴隷労働・非自主的且つ非人間的囚人労働を行わない
  - ② 児童労働の禁止  
15歳未満、義務教育を修了する年齢、該当国における最低就労年齢未満で最も高い年齢に満たない者を指す。これはあらゆる法令や規制に則った合法的な職場訓練プログラムの利用が支援されていることが前提となる。18歳未満の労働者(若年労働者)を、夜間勤務や残業を含む健康や安全が危険にさらされる業務に従事させない
  - ③ 結社の自由  
従業員の団結権の尊重

## 2. 公正な自由競争の原則

### 1) 開かれた購買

長期的、国際的視野に立ち、広く内外に開かれた調達活動を実践する

### 2) 公平かつ公正な購買活動

サプライヤー選定については広く公平な機会を提供し、品質、価格、納期、技術開発力などを総合的かつ公正に評価したうえで誠実に選定する

## 3. 環境保全に配慮した企業活動

### 1) 環境関連法令・規制の遵守

環境法規制の遵守および製品含有物質規制など別途法令・規則等に定める管理およびデータの保有ならびに環境上の許可証（排出監視など）、承認、登録をすべて取得する

### 2) 環境に配慮した生産プロセスの維持管理の徹底

製品の開発・生産における環境管理体制の構築・維持・改善を図る

### 3) 環境負荷物質の低減・削減

環境に放出された場合に害を及ぼす化学物質などを特定し、安全な取り扱い・移動・保管・使用・リサイクル・再利用・処理するよう管理する

### 4) 公害防止、環境保全

製造工程や排水処理工程において発生する汚水や廃棄物について、放流・廃棄処理の前に適切な処理を行う

### 5) 大気汚染

業務上発生する揮発性有機化合物および副産物は、環境法令に則り、適切に排出する

## 4. 人権への配慮

### 1) 個人情報の尊重

企業活動において知りえた個人情報の取り扱いについては厳重な管理を行う

### 2) 非人道的な扱いの禁止

性的嫌がらせ、虐待（セクシュアル・ハラスメント）、身体的懲罰、精神的・身体的強要、暴言による虐待などの過酷で非人道的な扱いの禁止

### 3) 差別の禁止

企業活動において、人種、国籍、宗教、年齢、障がいの有無、性別、配偶者の有無、性的指向などに基づく差別の禁止

## 5. 安全衛生

### 1) 職場のリスク管理

職場の安全に対するリスクを評価し、また適切な設計や技術・管理手段をもつ

て安全を確保する

2) 衛生管理

労働災害や疾病などを、予防・管理・追跡・報告するための手順および体制を確保する

2016年 4月制定

株式会社バルカー  
生産調達管理部